

9月うぶやま天文台イベント



## アンタレス食を楽しもう

天空が広がるうぶやまの高原は、秋の気配を感じさせる涼しい風が吹き始めました。宵の空には夏の星座が見え、それを追いかけるように秋の星座が東から昇ってきます。

9月の星空イベントは、アンタレス食の観察です。9月21日に、さそり座の1等星アンタレスが上弦前の月に隠されるアンタレス食が起こります。地球の周りを公転している月は、地上から見ると星空を背景に東へと移動しています。このとき月が背景にある天体を隠していく現象を、月による「星食」または「掩蔽（えんぺい）」と言います。星食は、天球上の通り道が近い、黄道付近の恒星でしばしば起こります。1等星などの明るい恒星の星食は肉眼でも観察しやすく、観察のチャンスになります。星食は日食のように見られる地域が限られますが、今回のアンタレス食は、日本全国各地で観察することができます。起こる時刻は場所によって異なります。

アンタレスが月によって隠される「潜入」は21日の午後5時過ぎに起こります。アンタレスは月の光っていない方縁（暗縁）から月に隠されますが、日の入り前の明るい中で起こるため、潜入の様子を観察することは難しいでしょう。アンタレスが月の背後から姿を現す「出現」の様子は、日の入り後の空で午後6時30分過ぎに観察することができます。アンタレスは月の光っている縁（明縁）から姿を現します。予報時間の少し前から観察を始めると、出現の瞬間を捉えることができるかもしれません。恒星は面積をもって見える惑星とは異なり、点像にしか見ないため一瞬で出現します。西側の地域になるほど日の入りからあまり時間が経たない（空がまだ明るい）うちにアンタレスが出現を迎えるため、観察には双眼鏡や望遠鏡が必要です。

月の光っている方の縁に狙いを定めアンタレスの出現を待ちましょう。日の入りから概ね1時間ほど経つと空がかなり暗くなります。この頃以降にアンタレスが出現する地域では月やアンタレスの光度が低いため、南から南西の空が地平線まで開けている場所で観察してください。

期 日	: 令和5年9月21日（木）
時 間	: 午後4時30分～午後10時 （アンタレス食観察のみの方は午後7時まで）
場 所	: うぶやま天文台 （熊本県阿蘇郡産山村大字大利585ファームビレッジ産山内）
観察対象	: アンタレス食 夏の星座 秋の星座 等
持参物	: 星座早見盤（一般参加者で持ってない人には当日配布します）
料 金	: 村外の方・・・全員無料 村内の方・・・高校生以上300円 小中学生200円 未就学児無料

天候不良で実施できない場合は中止します。その場合は、再度お知らせ端末で連絡します。上記につきまして、産山村外の方は産山村教育委員会までご連絡下さい。

【お申込み・お問合せ先】

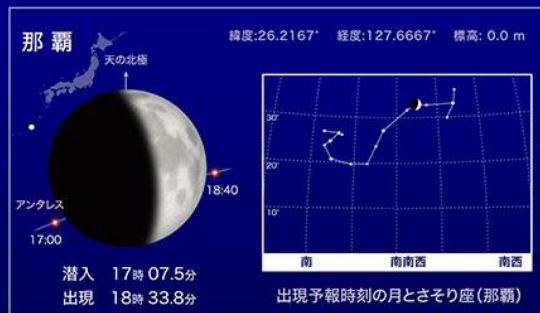
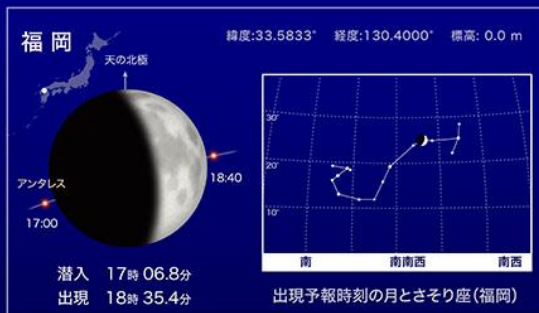
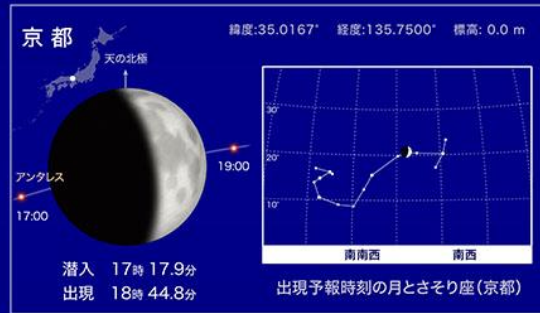
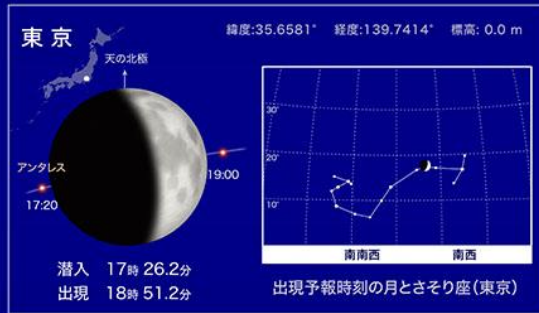
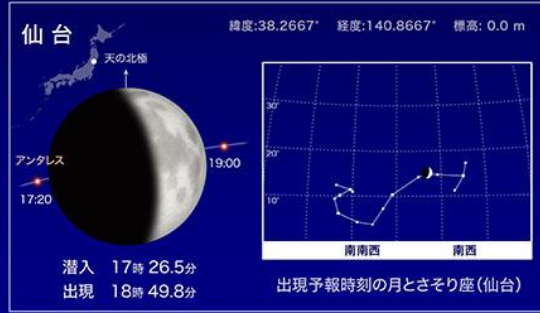
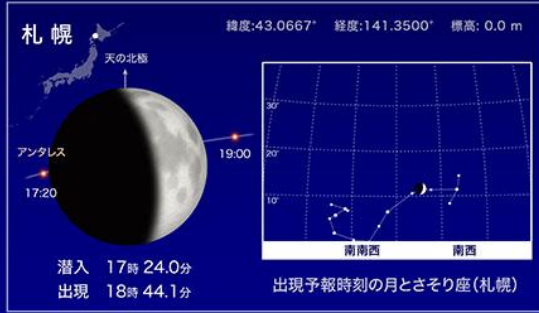
産山村教育委員会

TEL : 0967-25-2214

FAX : 0967-23-9670

2023年 9月 21日 アンタレス食 (各地の予報)

※各地の図の左側の月は、天の北極側が上になるように描いています。  
実際の空で見る月とは傾きが異なります。



国立天文台

日本各地でのアンタレスの「潜入」、「出現」時刻

うぶやま天文台でのデータ

潜入時刻	高度	日の入り時刻	出現時刻	高度
17時08分	30.4度	18時25分	18時36.8分	24.0度